

## 経済産業省の競争的研究資金に当センター支援事業が採択

経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業\* (一般枠、経済危機対応・地域活性化予備費事業)に、当センターが支援する次の2テーマが採択されました。

\* 戦略的基盤技術高度化支援事業:「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」により、「研究開発等計画」の認定を受けた中小企業者が国からの委託を受け、ものづくり基盤技術の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発を行う事業。

### 世界初クローズドループ制御式自動人工呼吸器用フローセンサーの開発

**総括研究代表者**

(株)ホクシンエレクトロニクス (代表取締役社長 佐藤 辰衛、秋田市)

**研究共同体**

(株)ケーエンジニアリング、秋田県産業技術総合研究センター

**研究開発期間**

平成22年度～平成23年度

**研究開発規模**

52,367千円

**概要**

医療従事者の負担軽減や医療事故の未然防止のために、人工呼吸器の自動化が求められており、そのためには、患者の口元で使用可能な、これまでにない安全で高精度のフローセンサーが必要です。

本事業では、高度な成型技術により測定管の安全性を確保し、また、超音波式気体流量・酸素濃度測定機能によりクローズドループ制御用信号を得るという技術確立し、ユーザーが求める安全で高精度の自動人工呼吸器用フローセンサーを開発します。

**コメント：(株)ホクシンエレクトロニクス 佐藤 宗樹 専務取締役**

「自社製品の開発に注力し、医療機器産業への参入をめざしています。メーカーとして、技術力の向上と社員のモチベーションアップを図って参ります。」



ホクシンエレクトロニクス佐藤専務



フローセンサー